

子どもたちとともに成長する！

フォローアップ外来の醍醐味

熊本市民病院総合周産期母子医療センター
新生児内科 川瀬昭彦

若手医師のためのフォローアップセミナー in 盛岡
2015.10.24

はじめに

Q：なぜフォローアップが必要か？
(と若いころから考えていたか？)

A：昔(20世紀)、当時のボスに
「酸素使って退院しても、小さい脳室内
出血があっても、3歳の時にしっかり
していればいいでしょ？」(意識)
と言われたから。

はじめに

Q：なぜフォローアップが必要か？

A：例 新生児臨床研究ネットワーク
(Neonatal Research Network) に
おける臨床研究のエンドポイントは？

NRN

これまでの研究

- ・脳室内出血と動脈管開存症の発症予防に関する研究
(インドメタシン予防投与)
- ・超低出生体重児への超早期授乳による罹病率の軽減と
発達予後改善のための研究
- ・超早産児の赤血球輸血回避に対する臍帯のミルクング
の多施設ランダム化比較試験
- ・超低出生体重児の慢性肺疾患予防に対するフルチカゾン
吸入療法の多施設ランダム化二重盲検比較試験



Secondary endpointとして、
必ず暦3歳時の発達評価+ α

フォローアップ(私のポイント)

『Key age』毎に、自分のチェックポイントを上げてみます。
(もちろん色々な書籍に記載されていますが…)

(修正) 1ヵ月

- ・NICUを退院して初めてのフォローアップ外来の方もいる。
- ・まず家庭での生活をお聞きし、ご両親の不安を取り除くことが
一番の目的となる。
- ・体重増加、頭囲の増大などをチェック。
- ・股関節脱臼。
- ・予防接種をきちんと受けているか？
- ・沐浴、お宮参りなど
- ・追視する、音も聞こえることを再度確認。あるいは認識してもらう。
- ・必ず一つほめる！

(修正) 4ヵ月

- ・首がすわる(引き起こして45度)。
- ・あやすと声を出して笑う。
- ・手を見る、手と手を合わせる、手を口に持っていく。(重要)
- ・体格、予防接種をチェック。
- ・泣いているときに声をかけると泣き止む。
(聴力のチェックは言葉が出るまで毎回必要。)
- ・反り返りが強めの時期。『前向き丸抱っこのおすすめ』
- ・股関節脱臼の最終チェック。

- ・人見知りもしないので、一番かわいい時期！
- ・今回ももちろんほめる！
- ・離乳食の話。

※写真は「240動画でわかる 赤ちゃんの発達地図」
メディカ出版、木原秀樹先生の承諾済。



(修正) 7ヵ月

- ・寝返り(形:下半身からまわるか?)
- ・座位(前に手をついて⇒手を離して⇒横におもちゃ「負荷試験」)
- ・手で足を持つ、足を口に持っていく。(重要)⇒歩行可能
- ・少し人見知り? ⇒ おもちゃを見せると、おもちゃとこちらの顔を交互に見て、しばらくして取る⇒反対の手に持ち替える⇒口へ。
- ・抱っこできるか? 抱っこして部屋から出てみる(後追い)。
- ・布かけテスト(両側)
- ・離乳食の進み具合。
- ・歯が生えていれば歯磨き練習スタート。
- ・歩行器は便利だが、立たせて尖足になる子は使わせない、あるいは椅子を一番下まで下げて使用する。



(修正) 10ヵ月

- ・つかまり立ち、つたい歩き(尖足の確認)。
- ・一芸(バイバイ、パチパチ、おつむテンテン等)
- ・共同注視(重要)
こちらが指をさして見た方向を赤ちゃんもみる。
- ・人見知り全開!
- ・パラシュート試験
- ・立位での後方ステップ(大体泣いてできない)。
⇒これが出来れば3か月以内には歩ける。
- ・発達障害も視野に入れた診察。



- ※ 毎回行うこと
- ・身長、体重、頭囲を成長曲線に記載して確認。
- ・親御さんに宿題を(一芸など)。一つほめる。

(修正) 10ヵ月

- ・人見知り全開!で困ったら?
こちらも親も気持ち悪い雰囲気??
- ⇒ まず、なぜ人見知りをするか説明。
そして、人見知りまでできるようになったことをほめる。
まったく診察できなくても、普段の様子を聞いて、その回は終了。
「バイバイ」はほとんどしてくれる。

(修正) 1歳6ヵ月

- ・歩く、しゃべる。(新生児科医で良かった!と思う瞬間。)
- ・発達検査が行われることが多い。(新版K式、ベイリー)
⇒正しい解釈
- ・体格(SGA性低身長症対象児も忘れずに)
- ・指さし
- ・こちらの言う事がわかるか?
(あえてジェスチャーなしで「ちょうだい。」)
- ・聴覚障害の最終否定
- ・集団保育について
- ・自閉症スペクトラムについて
(人見知り、指さし、目線、バイバイなど)



(修正) 2歳

- ・『Key Age』ではないため、参考書籍が少ない。
- ・二語文を言ってほしいが、男の子は難しい。
⇒「男の子だから…」では片づけられない。
- ・階段昇降
- ・反抗期について
- ・SGAの男児は落ち着きがない?
- ・自閉症スペクトラムについて(引き続き)
(偏食、つま先立ち、目線など)



暦3歳

- ・『Key Age』の中の『Key Age』 大事な検診。
⇒再び発達検査(新版K式、ベイリーなど)を行う。
- ・ここから年長は、「母子手帳」を頼りに問診。
 - ・手を使わずに一人で階段を上れますか?
(軽い尖足の児は上れても降りれないので、そこも聞き取る)
 - ・クレヨンなどでOを書きますか?→実際書かせる。
大小の区別も合わせて「大きいO書いて。」
 - ・衣服の着脱を一人でしたがるか?
 - ・自分の名前が言えるか?
 - ・歯磨きや手洗いをするか?
 - ・良く噛んで食べるか?
- ・反抗期が終わっているので診察はしやすくなっているはず。

暦4歳

- ・個人的に「難しい」と思っている年齢。
(3.5歳児検診のことはよく書いてある。)
- ・ここも「母子手帳」を参照。
 - ・階段を2,3段の高さから飛び降りるか？
 - ・ケンケンできるか？(実際はなかなかしてくれない。)
 - ・自分の経験したことをお母さんに話すか？(集団保育の出来事)
 - ・はさみを上手に使うか？
 - ・ごっこ遊びをするか？
 - ・偏食はあるか？
 - ・トイレは？(大、小、夜尿症)
- ・自閉症スペクトラムもここまで来るとはっきりしてくる。
- ・運動能力が上がり、走った時に尖足が再び目立ってくる。

暦5歳

- ・『Key Age』 大事な検診。
- ・前述のSGAのお子さんたちの落ち着きがでてくる。
それも含め、検診がしやすくなってくる。
- ・ここも「母子手帳」を参照。
 - ・前回りできるか？
 - ・思い出して絵を描くか？ ・じゃんけんの勝ち負け。
 - ・色がわかるか？(赤、黄、緑、青)
 - ・トイレは？(大、小、夜尿症)
 - ・集団生活の様子。(親から保育士さんに尋ねてもらおう)
 - ・「カレーの話」
「カレー好き？」「ママの作ったカレーおいしい？」「保育園のカレーおいしい？」 「じゃあ、どっちのカレーがおいしい？」
⇒ここでお母さんの方を少し困った顔をして見れば正常。
(「保育園！」とすぐに答えられ、場が凍ったことあり。)

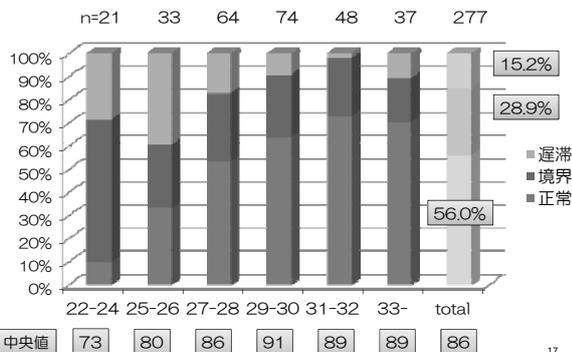
就学に向けて

- ・選択肢は大きく分けると3つ。
「普通小学校普通級」「普通小学校支援学級」「支援学校」
後者2つは保護者側からのアプローチが必須。
最終決定権は親に比重があるが、適切なアドバイスも必要。
- ・時期
後者2つに行くかどうかは、年長の夏ごろには決定する。
一般的な就学時検診は秋なので、そこで相談しても間に合わない。
⇒年齢問わず、年長の1学期に発達検査 (WISC、ベイリー、K式など) を行い、判断の一助とする。
- ・予算が必要な場合(スロープ、トイレの改修など)
⇒年中の夏が勝負！ 次の年度で予算を取らないと改修できない。
⇒就学に関わらない。

パンフレット

リトルエンジェル支援事業

熊本県の
極低出生体重児支援事業



いちごの会

患者さん(赴任後3日目に受け持ちになった24週の子宮閉鎖の児)のお母さんに教えてもらい、
それ以降携わっている、超低出生体重児とその親の会です。
熊本市西区の保健師さんが代々引き継ぎで担当され、既に10年以上、年3回開催しています。



NICU 同窓会

やはり、「同級生」はいいものです。
立場、環境が近い親子の出会いの場を作ることも
私たちの役割です。
(しかしスタッフの一部はくまモン目当てです…)



全国版 NICU卒業生親の会を目指して

がんばりっこ仲間 <http://ganbarikko.net/>

11年前に当院で22週で出生したお子さんとお母さんが設立。

熊本→東京→全国へ。

Facebookによる「仲間」作りサポート
現時点で26都道府県の親、医療従事者が
登録。約700名。

4都県では実際の集いも開催。

チラシ掲示が24都道府県。



参考（推薦）図書



240動画でわかる 赤ちゃんの発達地図
木原秀樹著 メディカ出版



0~3歳まで 赤ちゃんの発達障害に気づいて
育てる完全ガイド
黒澤礼子著 講談社



育てにくさをもつ 子どもたちのホームケア
小林達也著 診断と治療社